

風景を切り取る④ － 魚はどこに－

タイのウボンラチャタニ県でおばあさんにラオスのアッタプー県に行ってきたと話したところ、「アッタプー（の人）は金を鶏と交換する」と韻を踏んだ言葉を唱えだした。古い歌の一節だという。アッタプー県の河川では今でも砂金がとれる。だが、村の人々が乾季の副業として採っていた砂金採りは、2005 年ごろからは企業に採掘権が販売されるようになった。落札した中国の企業は昼夜を問わず作業をし、川底を掘り続けた。豊かな漁場で知られたセコン川では淵も瀬も埋まり、川のおちらこちらに小石の島ができた。魚の生息地が影響を受け漁獲が激減したことを憂えた村人は何度も郡に訴えたが、対策も取られなかったという。最後に企業の労働者と争いになり怪我人も出て、村人だけが拘置所に入れられた。しかし、企業の開発も一旦止まっている。上流のダム開発による河川の汚濁も重なり、魚は今年になってもまだ帰ってこない。（撮影 2006 年 3 月）



編集後記

またしても発行が大幅に遅れましたこと、お詫び申し上げます。

メコン・ウォッチの内部では長年、フォーラム Mekong について、情報を広く無料で公開することと、冊子として発行し経費を一定回収しつつまとめていくことの意義と限界について議論がありました。この度、事務局として、より広い層へ様々な情報をお届けすることを決め、年5回程度、レポートをウェブ上で無料公開することを決定しました。

未曾有の大震災の後の福島第一原子力発電所の事故で、私たちの活動も大幅な変更を強いられています。メコン本流のダム建設だけでなく、特に原子力発電の輸出という課題に力をいれ活動を続けてまいります。これからも新しいフォーラム Mekong と、メコン・ウォッチをよろしく願いいたします。メコン・ウォッチの活動や現地情報をお伝えするため、メコン河開発メールニュースも無料で発行しております。下記のサイトから登録できますのでぜひご利用ください。

<http://www.mekongwatch.org/resource/mailnews.html>